

ひしと胸に迫る。身近な人を描いた絵も多く家族や愛しい人への断ち切れぬ愛の深さが、絵心のない私にも感じられた。存命ならば美術界に大きな足跡を残されたであろう才能ある若者が、あたら命を散らさねばならなかった戦争のむごさを、しみじみ考えさせられた。

「このこと似た崇高な鎮魂の空気を感じた記憶がある」と思い起こしたのは、かつて訪ねた鹿児島県の知覧特攻記念館のことだ。無言館は絵で、知覧は遺書と残されたものは違うけれど、魂の叫びは同じだった。当時の彼等と同世代の娘や息子に、こういう所こそ見せなければと心に刻み日だまりの中に建つ無言館を振り返り、同じ感慨であろう夫も私も無言だった。}

山登りをしてきたお陰で大勢の方と知り合いになり、大勢の方から親切にしてもらいました。これから人様から助けてもらう事も多いと思いますが、今までの借りを少しでも世間にお返ししなければなりません。そのことを忘れずに又自分の夢にも挑戦してゆきたいと思ひます。

会員の声：「取ってもよいのは写真だけ」 虚し 梨本 清一

山シリーズ———2週連続卓話如何でしたか？

久保さん、坂爪さんとも、それぞれの個性というか、お人柄が伝わってきて、すごく楽しませて頂きましたね。

お二人に共通した点は、お二人とも機智に富みジョークがとてもお上手だということです。

坂爪さんのお話の中に「百名山の頂上はジジ、ババ、であふれかえっている」という表現がありましたが、思わず吹き出してしまいました。この表現こそ、昨今の「登山ブーム」を言い得て妙なりです。

2千メートル超の高山に行くと、よくパトロール隊の人たちに遭遇することがあります。ボランティアだと聞きますが、頭が下がります。この人たちは、その山でのよろず援助者ですが最大の使命は自然環境の保全かと思われます。

坂爪さんがある山でパトロール隊員のホンネを聞かされたと話されたことは「この山が百名山に選ばれなくて、ほんとに良かった」でした。

角田山の雪割草がめっきり少なくなりました。白色は助かって、色ものが影をひそめました。桜尾根の名称をもつ登山道は踏み荒らされたそこここ、桜の倒木があわれに横たわっております。国上山も弥彦山も年々花たちの姿が消えて行きます。

「取ってもよいのは写真だけ ———〇〇ロータリークラブ」の立て看板が虚しくたたずんでおりました。

4月22日例会： 夜例会 点鐘午後7時 三条ロイヤルホテル

4月29日例会： 休会（みどりの日）

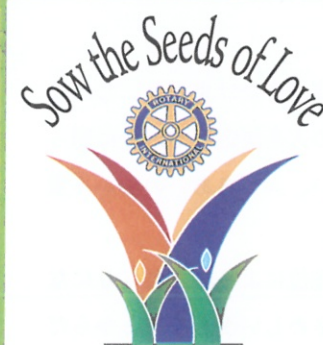
5月6日例会： 卓話 中條耕二会員

5月13日例会： 社会奉仕事業「裏館小学校に森を造る植樹」12：30～

5月20日例会： 卓話 市立裏館小学校校長 大野源（げん）様

5月27日例会： 地区協議会報告会

6月4日例会： （水）同伴パーティー（新ホテル日航）三条出発17：30



会長／梨木 建夫
幹事／五十嵐 茂
SAA／佐藤 弘志

三條北ロータリークラブ週報

慈愛の種を 播きましょう

例会日
2003. 4. 15
累計 No 798
当年 No 39

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事： 卓話「登って、旅して」久保さんと登らん会 幹事 坂爪幸穂様

出席： 本日の出席 60名中 41名

先々週の出席率 60名中 46名 76.67%（前年同期78.03%）

先週のメイクアップ： なし

ゲスト： 久保さんと登らん会 幹事 坂爪幸穂様

ビジター： 田上あじさいRCより 藤田昌司さん（次年度AG）

会長挨拶： 梨木 建夫



すばらしい季節になって参りました。新緑のさわやかな毎日が続き、過ごしやすいく日々がジッとしている事を拒否し外へ出かけるよう、うながしているように感じられる今日この頃ですが、先日私がタクシーに乗ってましたら、運転手さんがたまたま、県外のお客様を乗せていまして、三条の一番の観光地はどこですかと質問され返答に困ったと言っておられました。

そういえば三条市にはここだという目玉の観光地がないように思われます。他の町から来た人に紹介すべき、誇るべき観光地がないということとは全く悲しむべき事であり、売り方がヘタでもありPR不足ということでしょうか。私自身、市の産業観光開発委員の1人でもあるのですが、何か良い知恵を出して三条市へ多くのお客様から足を踏み入れて頂く為の算段を早急に考えて実行したいと思ひます。

桜も満開に近づいているようすし、選挙戦もたけなわで地方統一選の第1段、県議選が終わりました。そこで散る人もあれば咲く人もおり結果は悲喜こもごもでしたが、私も告示日に半日だけ街宣車に便乗し街の隅々まで廻ってみました。天気は曇りでしたが風が肌寒く、窓から白手袋をはめて手を振るのですが寒くて凍えそうでした。候補は自分自身の事で一生懸命ですから寒さは感じないようでした。がそんな中、一部の方から客商売をしている者は推薦者を明確にしない方がい

いし、露骨に表すと敵を作る事につながり、上手くないのではというご注意を受けました。しかし私は自分の考え方を信念を持って明確にするべきだと思い、あえて意中の人を決定して応援に廻った訳です。自分自身の生き様を鮮明にする事で対外的な活動を活発に行い、人づきあいの中から責任を明確にする事で色々な進歩発展が見えてくるのではないのでしょうか。

話が少し変わりますが「地位は人をつくる」とよく言われますが人は地位によってそれなりになってくるものだそうですが、それはその人が懸命に努力しその地位にふさわしい働きをするからだと思います。

チョット堅苦しい話になってしまいましたが、何はともあれ「人生、いきに感ず」を実践してみたいものです。

幹事報告： 五十嵐幹事

- ・佐野ガバナーより ブリスベン国際大会参加要請及び参加者報告のお願い
- ・第2560地区ローターアクトより 指導者研修会（地区協議会）登録のお願い
- 期日 平成15年5月10日～11日
- 会場 国民年金健康センター上越
- ・地区協に向けて委員長宛にアンケートの依頼が届いています。該当委員長さんは協力よろしくお願ひします
- ・次年度名簿作成の為、皆さんの名簿確認をお渡ししましたが、ご協力よろしくお願ひします
- ・地区からのポリオ寄付依頼（1人50\$、6100円）に対し会員1人3,000円のご協力をお願いします。ボックスを回しますので、名簿にご記入の上入れてください
- ・次週22日は夜例会です。三条ロイヤルホテルにて19：00点鐘です。よろしくお願ひします

委員会報告： 社会奉仕委員会

- 5／13（火）社会奉仕事業「裏館小学校に森を造る為の植樹」12：30集合 13：30終了
- 食事は学校給食を食べます。中庭での植樹となりますので、長靴を忘れずに用意してください。
- 翌週5／20の例会は校長先生から卓話をして頂きます
- * 藤田次年度アシスタントガバナーより 次年度のIMへの協力のお願いをされました

ニコニコボックス：	15日現在累計 970,100円
-----------	------------------

- 藤田昌司君 （田上あじさいRC）次年度のAGをお引受けすることになりました田上あじさいRCの藤田と申します。何分ご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 梨木建夫君 次年度A・Gの藤田A・G、本日はようこそ。次年度のご指導よろしくお願ひいたします。又、本日は坂爪先輩卓話ありがとうございます。
- 中條耕二君 田上あじさい初代会長、第4分区分次年度AGの藤田昌司さんをご歓迎します。
- 今井克義君 春になりました。
- 小林満君 都合により早退させていただきますので。

なく東シナ海ですぐ先は朝鮮半島だと言われ、夕陽の沈むのは日本海だけしか知らない我々と、すぐ近くに外国を感じる事の出来るこのあたりの人達との違いを知りました。私の好きな西郷隆盛が27歳の時に作られた詩で「書懷」という詩があります、「小船を操ってほんの少し西に行けば亜細亜大陸だ鴨緑江を渡って更に進めば崑崙山脈が横たわっている、後略」この地に生まれ育った人だからこそこういうスケールの大きな詩ができるのだと思いました。この夕陽を見て初めてこの詩の意味がよく理解できました。翌日案内してもらった韓国の名誉総領事でもある、第14代 沈 寿冠さんの薩摩焼きの窯元で白薩摩のぐい飲みを買って、西郷さんの記念館や城山や磯庭園を巡りながら車の中で西郷さんと愛加奈や、二人の間の子供でのちに神戸市長になった菊次郎あるいは、おいとさんの話など楽しい話が続きました。その夜鹿児島県天文館のビジネスホテルに泊まり夜は繁華街の天文館で地元の料理と地元の焼酎を飲んで地元の人達と楽しく語り合いました。

翌日100名山で2番目に低い山、開聞岳に登りました。円錐型の独立峰で小型の富士山です、地元の子供達が大勢登っていました。頂上近くは、回り込むように登り小さな岩のゴツゴツした頂上でした。雲一つ無い快晴でした。天を仰いで目をとじれば本当に今の平和と幸せのありがたさを感じながらとめどなく涙がこぼれ落ちます。この山は日本の歴史にとって忘れてはならない山です。1945年3月中旬から6月22日迄の約3ヶ月間、世界の人類史上かつてなき壮絶な戦を見守ってきた山です。この山の北には今は一面茶畑になっている所がかつての知覧飛行場です。此处から1000人以上の少年航空兵達が飛び立ち二度と帰ることがありませんでした。小高い丘の上から白いハンカチを振り一機づつ見送る知覧高女の女生徒達の姿が目には浮かびます。特攻機は知覧を飛び立ちいったん北に向かい上空で僚機を待ち編隊を組み、やがて一機づつ地上すれすれまで急降下して地上に最後の別れをします。翼を振りながら急上昇しやがて目の前に開聞岳が見えてきます上空を旋回して富士山と同じ形のこの山を臉に焼き付け約1時間40分沖縄の米軍艦隊を目指します。19歳の特攻兵の辞世があります。「あぜの花 召し出されて桜かな」一介の野の花が特攻兵に選ばれ桜になることができた。又有名な話として、小千谷の宮川三郎軍曹のホタルになって帰る話 光山少尉の別れのアリラン 1000人の人に1000人のドラマがあります。この山、開聞岳は全てを見てきました。私自身の心の100名山の一番に上げたい山です。小さな頂上に何時までも居るわけにもいきません。詩を作り下山しました。

「涙して 頂たてし 開聞の 悲しき思い 誰ぞ知るらん」山の上の おいら作
暑い日でした、下山して登り口でアイスクリームを食べました美味しかったです。つい昨日のように思い出されます。

北アルプスの帰り上田市の信濃デッサン館へ寄りました。此处は入館料ではなく出館料です。自分が見た価値判断で料金を納めます。

昨年の暮れ新潟日報の窓欄に柏崎市の主婦の方が投稿されていました引用させていただきます。（ドアー一枚で隔てられただけなのに、外の小針日和とはあまりにも対照的な、冷涼な鎮魂の空間に心が引き締まった。上田市郊外にある戦没画学生の遺作を展示している無言館を、念願かなって訪ねた。「生きて帰り、再び絵筆を」の願ひもかなわず、道半ばで絶たれた若者の生への無念さがひし